

## 令和7年度

## 外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業 事業成果報告書

## 【外部講師を活用して実施するがん教育の推進に係る取組】

## 1 事業の具体的内容について

## (1) 自治体における取組

## ① がん教育推進協議会について

## 1. 構成員

○全体で13人

	所属・役職	専門分野等
1	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻長・教授	学識経験者、がん専門医
2	一般社団法人秋田県医師会常任理事	医療関係者（学校保健担当）
3	公益社団法人秋田県看護協会	医療関係者（がん専門看護師）
4	秋田県がん患者団体連絡協議会副代表	がん経験者
5	秋田県中学校長会	中学校長
6	秋田県高等学校長協会	高等学校長
7	秋田県養護教諭研究会	養護教諭
8	秋田県健康福祉部健康づくり推進課長	保健福祉部局
9	秋田県教育庁保健体育課長	行政関係者
	秋田県教育庁保健体育課員	行政関係者

## ○連携先

秋田県医師会、秋田県看護協会、秋田県がん患者団体連絡協議会、健康福祉部健康づくり推進課

## 2. 開催時期、検討内容

	期 日	出席者	内 容
第1回	令和7年 7月30日	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度秋田県がん教育推進事業について</li> <li>がん教育動画の活用について</li> </ul>
第2回	令和8年 1月21日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度秋田県がん教育推進事業について</li> <li>令和7年度秋田県がん教育推進事業の成果と課題について</li> <li>令和8年度秋田県がん教育推進事業について</li> </ul>

## ② 教育委員会としての取組

## 1. がん教育アドバイザーの委嘱

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻長・教授 安藤秀明氏

## 【がん教育アドバイザーの役割】

- ・事業全般への指導助言
- ・がん教育推進協議会における指導助言
- ・外部講師研修会講師、外部講師への助言等

## 2. がん教室に外部講師（医師と経験者）を派遣

○中学校、高等学校、特別支援学校高等部15校に外部講師を派遣し実施

【がん教室実施校】

	学校名	テーマ
1	大館市立下川治中学校	“がん”を正しく知り、行動しよう！
2	大館市立成章中学校	がんの正しい知識を学び、がん予防の生活習慣を身につけよう
3	能代市立能代南中学校	「がん」を正しく知り、病気と共生していく自分の生き方を考えてみよう
4	三種町立山本中学校	がんについて学ぼう、考えよう
5	秋田市立御野場中学校	がん教室～今、自分にできること～
6	秋田市立河辺中学校	がん教室～命と健康について考えよう～
7	男鹿市立男鹿南中学校	がんに関する正しい知識を身につけるとともに、命の大切さを考えたり、がん患者への正しい認識を深める
8	潟上市立天王南中学校	がんを正しく知り、今、自分にできることを考えよう
9	大仙市立大曲南中学校	「がん」を知り、健康で充実した人生を送るために
10	湯沢市立皆瀬中学校	「がんを知り、命と向き合う」
11	東成瀬町立東成瀬中学校	がん教室—生き方を選ぶ—
12	秋田県立秋田南高等学校中等部	がんを正しく知る
13	秋田県立六郷高等学校	「がん」について学ぶ
14	秋田県立羽後高等学校	がん教室
15	秋田県立大曲支援学校	健康の大切さ～がんから自分を守るために～

○がん教室の内容等については、「(2) 外部講師を活用したがん教育の授業」に記載

3. がん教育指導者研修会の開催

○期 日：令和7年11月6日

○場 所：秋田県総合教育センター

○参加者：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員 105名参加

○内 容：講義Ⅰ 「がん教室」デモンストレーション

講義Ⅱ 「外部講師として学校に望むこと」

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻長・教授 安藤秀明氏

秋田県がん患者団体連絡協議会 きぼうの虹副代表 田中鈴子氏

説 明 「学校におけるがん教育について」

県教育庁保健体育課担当

分科会 「本校におけるがん教育の取組について」

4. がん教育外部講師研修会の開催

○期 日：令和7年7月30日

○方 法：集合型と後日オンデマンド配信

○対 象：既存の外部講師リスト登録者、がん教育に関心のある医療従事者、がん経験者等

○受講者：集 合 6名（医療関係者1名、がん経験者5名）

オンデマンド9名（医療関係者4名、がん経験者5名）

○内 容：講 義 「がん教育で何をどう伝えるか」

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻長・教授 安藤秀明氏

説 明 「本県の学校におけるがん教育について」

県教育庁保健体育課担当

5. 令和7年度外部講師を活用したがん教育実施マニュアルの周知  
外部講師リストの掲載されているマニュアルを、各市町村教育委員会、県立学校に通知

6. がん教育動画の活用  
昨年作成した、学校で活用できる10分程度の動画を各種研修会等で宣伝し、学校での活用を推進

③ 保健部局や地域の専門機関等との連携

1. がん教育外部講師研修会

医師会、看護協会、患者会を通して、関心のある医療関係者に案内を周知

2. 秋田県がん対策推進計画

第4期秋田県がん対策推進計画の「がん教育・がんに関する知識の普及啓発」の中に、学校における外部講師を活用したがん教育の実施率を目標として設定し、現状値を報告

(2) 外部講師を活用したがん教育の授業

県立大曲支援学校高等部			全学年（37人）
授業時数	2時間	実施科目	保健体育科・科目保健

テーマ：がんを正しく知り、今、できることを考えよう

講師：大学院教授 安藤秀明氏

経験者 田中鈴子氏

内容：がん専門医による講話



**みなさんが、がんになる確率は？**

- 2人にひとり
- 4人にひとり
- 10人にひとり

今、わたしたちにできること

喫煙・受動喫煙・飲酒・食事（野菜不足、脂肪のとりすぎなど）・運動不足など

細菌・ウイルス      生活習慣      遺伝的原因

今、自分にできることを心がけることが大切



- ・がんの罹患状況、治療法、予防策等について、スライドと動画を用いて説明。
- ・たばこがなくなれば、男性のがんの3分の1がなくなる。たばこは最大の原因。

**がん経験者による講話**

- ・がんになると元の生活に戻ることはできないけれど、どう生きるかを考えるきっかけになる。
- ・自分や周囲の人、動物の命を大切に思い、困っている人を助けようという気持ちを持ってほしい。
- ・一人ひとりが、家族や友達にとってかけがえのない存在である。

**グループワーク**

あなたの大切な人が「がん」になってしまわないために、私たちは何ができるか。

- ・たばこを控えてもらうように話す。
- ・がん検診に行ってもらうように声をかける。
- ・がんになりにくい生活習慣を心がける。減塩する。



県立秋田南高等学校中等部			2年生（73人）
授業時数	2時間	実施科目	総合的な学習の時間
<p>テーマ：がんを正しく知る</p> <p>講師：がん専門医 橋爪隆弘氏 経験者 佐藤清子氏</p> <p>内容：がん専門医による講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの罹患状況、治療法、予防策等について、スライドと動画を用いて説明。</li> <li>・2人に1人はがんに罹患する。自分と隣の人、どちらかががんになる可能性があるという確率。</li> <li>・子宮頸がんは、唯一ワクチンで防げるがん。男子への接種も始まっている。</li> <li>・最も大きなリスクはたばこ。本人だけでなく、周りの家族も肺がんのリスクが上がる。</li> <li>・本県はがんの死亡率が高いため、がん検診を受けてほしい。早期発見は9割治る。</li> </ul> <p><b>がん経験者による講話</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん体験者の会に入会し、そこで出会った方から、がん患者として生きる覚悟、目的を持って明るく生きることの大切さを学んだ。</li> </ul> <p><b>グループワーク</b></p> <p>あなたの大切な人が「がん」になってしまわないために、私たちは何ができるか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣を見直してリスクを減らし、今回学んだことを家族に伝える。</li> <li>・早めにがん検診を受けることを、家族や親戚に積極的に勧めたい。</li> <li>・家族にがんの危険性や早期発見の大切さを伝える。</li> <li>・身近な人と一緒に運動や食生活を意識して、互いに体作りをしたい。</li> </ul> </div>			



### (3) その他

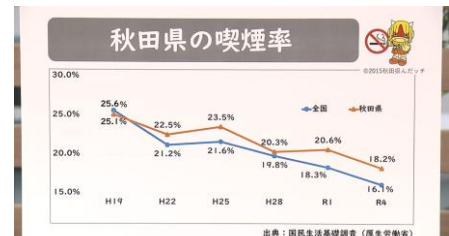
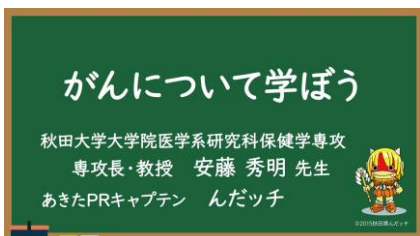
① 令和7年度外部講師を活用したがん教育実施マニュアルの周知  
外部講師リストを掲載したマニュアルを各市町村教育委員会、学校に周知した。

#### ② がん教育動画の活用

○昨年度、がん教育アドバイザー、健康福祉部健康づくり推進課、秋田朝日放送、明治安田生命等の協力を得て、がん教育動画を作成した。Youtubeに掲載し、学校でのがん教育等に活用できるよう周知する。

#### ○内容

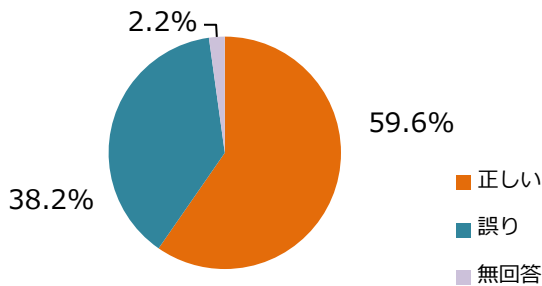
1. 「がん」って何？
2. どうして「がん」はできる？
3. どうして「がん」を学ぶの？
4. 「がん」を避けるためには？
5. がん検診



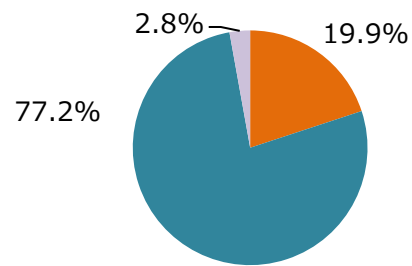
## 2 事業の達成度について

### (1) がん教室事前・事後アンケートの結果（がん教室実施校15校）

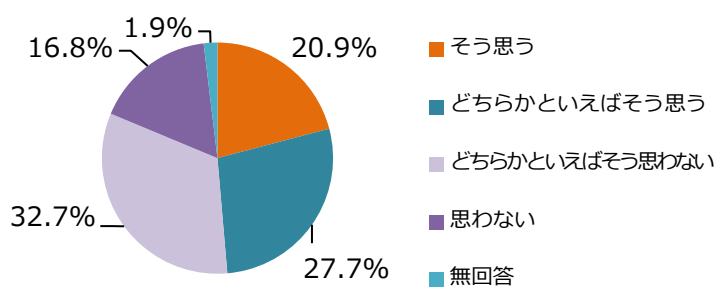
#### がんは日本人の死因の第2位である（事前）



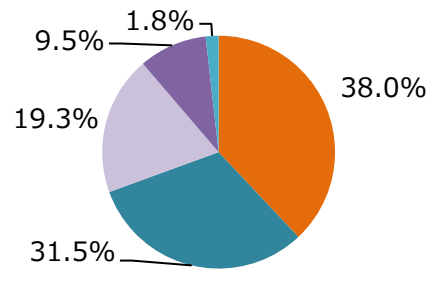
#### がんは日本人の死因の第2位である（事後）



#### がんになっても生活の質を高めることができる（事前）



#### がんになっても生活の質を高めることができる（事後）

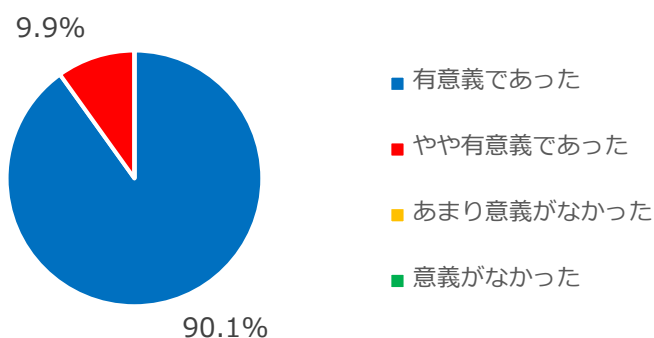


- ・がんは誰でもなる可能性があるものだとして学び、予防したいと思った。がん予防だけでなく、他の様々な病気の予防のためにも健康的な食生活や適度な運動を心がけたい。
- ・がんになったら治っても他の人の支えがないと生きていけないような病気だと思っていましたが、独立して自分たちで人生をよくしようとしている人たちがいることを知りました。
- ・がんに関する誤った情報で人を傷つけてしまわないように気をつけたいなと思いました。
- ・がんになる具体的な理由や、がん患者がこれまで通り接してほしいと思っているなど、初めて知ったこともたくさんありました。今回のがん教室で知ったこと家族に話し、がん検診を勧めてみようと思いました。

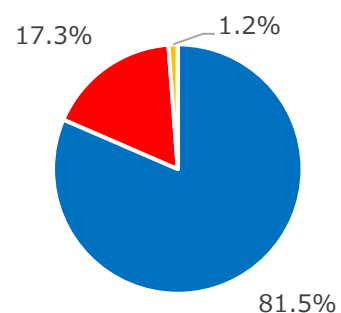
がん教室のねらいである、「がんに関する正しい知識を身に付ける」と「命の大切さを考えたり、がん患者への正しい認識を深めたりすることをおして、望ましい生活習慣の形成する」の両方について、事後アンケートの数値が高まっている。また、感想から医療関係者、経験者、それぞれでなければわからない知識や心情、気持ちの変化を理解していることがわかり、ねらいの達成につながっている。

### (2) がん教育指導者研修会アンケートの結果

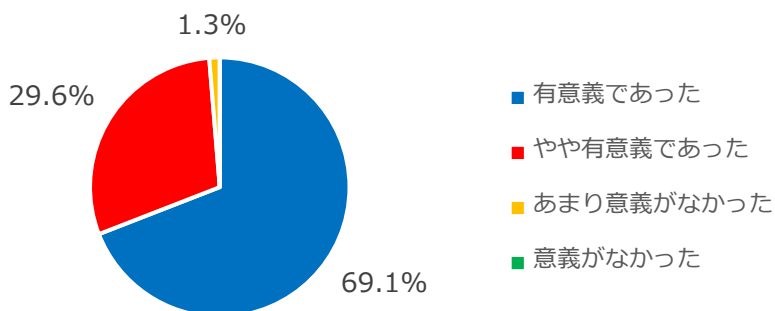
#### 講義Ⅰ 「がん教室デモンストレーション」



#### 講義Ⅱ 「外部講師として学校に望むこと」



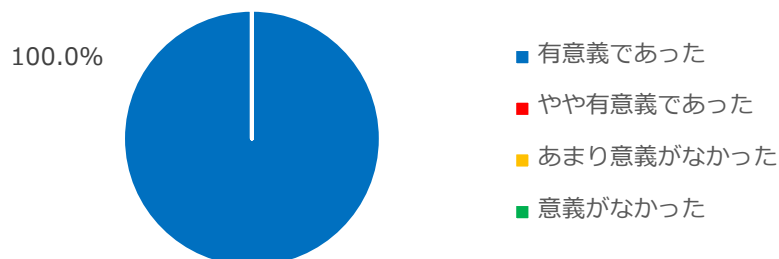
## グループ協議 「自校におけるがん教育の取組について」



- ・本研修で学んだことをまずは職員にしっかり伝達して、がん教育の必要性を理解してもらい、学校保健の年間計画に入れることを検討してもらいたと思います。
- ・研修を通して、がん教育における外部講師の活用は非常に有効であると感じました。特に印象的だったのは、がん教育が単なる生活習慣の改善を目指すものではなく、健康と命の大切さや思いやりの心を育む教育であるという点です。この視点は、子どもたちの心に響き、行動につながると感じました。

今年度もがん教室で外部講師を務めてくださっている医師と経験者を講師に迎え、がん教室のデモンストラクション等を実施した。アンケートや感想からは、外部講師を活用するメリットや実施した学校での取組等を知ることができ、有意義な研修となったことがわかった。次年度の研修会については、各校種別の実践発表を取り入れたい。

### (3) がん教育外部講師研修会アンケートの結果



- ・「がんで教える」という事の意味。経験談を話すことにより、子どもたちに考えてもらいたいと思いました。
- ・内容を見て、今行っているがん教育に、間違いはないと確認できて安心しました。
- ・がん体験者として外部講師を何回か経験させていただきましたが、改めて目的や現状を確認できました。

集合型の研修会には、経験者の方が多く参加して下さった。アドバイザーからの講義や助言、外部講師経験がある方のお話は、リストに登録する方の不安の解消に効果的であった。

## 3 今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題等）

- ・がん教育指導者研修会における現場の先生方からの意見を生かし、がん教室を現行の2時間から1時間でも可能になるよう柔軟に対応できるようにしたい。また、同時にマニュアルの見直しもしていきたい。
- ・がん教育指導者研修会で、実践事例が知りたいという意見を多くいただいた。がん教室実施校から実践事例を発表していただき、また他県での事例についても一緒に周知したい。
- ・令和7年度外部講師を活用したがん教育実施マニュアルの外部講師リストを活用した学校が2校のみであった。外部講師リストのさらなる活用を推進するため、周知の方法を工夫する必要がある。